

（主体横断的な基本的方向）

基本的方向8 各主体やその取組み、環境に関する必要な情報を提供する

地域
づくり

既存の環境教育・学習施設やさまざまなメディアを利用して、福岡市をはじめとした環境に関する正確で最新の情報を発信し、学ぶ機会を充実します。また、市民団体や学校、事業者などの主体やその環境保全活動についても、PRの支援や表彰制度などを通して広く発信します。

目的・取組み・具体例

◆地域・社会の状況や各主体のニーズに応じ、環境に関する情報が収集・整理される。

➡環境情報に関するニーズや関心、認知度などの把握

・定期的に市政アンケート調査を実施【環境局】

➡調査・研究の推進や大学、国、県の研究機関などとの連携による、環境問題に関する科学的知見の収集、現状把握の充実

・保健環境研究所における調査・研究の推進【環境局】、大気汚染物質の調査【環境局】、廃棄物の再資源化調査【環境局】 など

◆収集・整理された環境に関する正確で最新の情報が発信・共有され、学びの機会が充実する。

➡さまざまなメディア・媒体を活用し、対象を意識した効果的な情報発信・共有の推進

・市政だよりを活用した情報発信

：環境啓発イベントの情報などを市政だよりに掲載するとともに、「夏の省エネ対策特集号」などについては市政だよりと同時配布することで、広く情報を発信【環境局】

その他、環境局ホームページへの掲載、報道機関を通じた情報発信 など

めざすこと

資源物の回収拠点スマートフォンやタブレット端末で調べやすくするなど、情報発信を工夫してリサイクルに参加しやすい環境にします。また、フェイスブックなどのソーシャルメディアを通して環境イベントの情報を発信するなど、新たな情報発信ツールの積極的な活用についても検討していきます。



ユニバーサルデザインへの配慮や男女共同参画社会の視点、外国人への情報提供における配慮などを踏まえて、情報の発信・共有をすることが大切だね。

➔環境に関するあらゆる分野について、客観的で正確な最新の環境情報の発信

・黄砂・PM2.5に関する情報発信

：福岡市PM2.5・黄砂影響検討委員会の報告に基づき、黄砂の飛来予測情報やPM2.5の予測情報を行動のめやすと併せて、市ホームページや防災メールなどの多様な媒体で情報提供。また、広域大気汚染の状況を成分分析などで把握し、データ解析を行うとともに、黄砂・PM2.5の健康に関する知見等を収集し、わかりやすく情報発信【環境局】

➔情報発信の拠点である、既存の環境教育・学習施設の充実および施設が持つプログラムの有機的な結び付きの強化



スマートハウス常設展示場。再生可能エネルギー、HEMS（家庭内のエネルギーマネジメントシステム）などについて、実際に見て、体験できる施設

・まもるーむ福岡【環境局】、3Rステーション【環境局】、スマートハウス常設展示場【環境局】、工場見学の受入れ【環境局】、少年科学文化会館【こども未来局】、背振少年自然の家【こども未来局】、海の中道青少年海の家【こども未来局】、「博多町家」ふるさと館【経済観光文化局】、博物館【経済観光文化局】、油山市民の森【農林水産局】、油山自然観察の森【農林水産局】、も～も～らんど油山牧場【農林水産局】、今津リフレッシュ農園【農林水産局】、立花寺緑地リフレッシュ農園【農林水産局】、花畑園芸公園【農林水産局】、動物園【住宅都市局】、植物園【住宅都市局】 など

➔環境教育・学習施設や体験の機会を提供する場についての情報発信・活用促進

◆主体や環境保全活動が広く知られ、活動への参加が促進されたり環境保全の取組みが広がる。

(→基本的方向1、基本的方向2、基本的方向3、基本的方向4、基本的方向6)

めざすこと

オフィスでの省エネ・省資源をはじめとした事業活動での環境負荷の低減や、自主的な環境保全活動への参加を実践している事業者がいます。事業者は環境にやさしい商品・サービスの提供や技術開発にも取り組んでおり、製造・運輸過程等においても環境配慮に努めています。以上のような個々の事業者の取組みは、他の事業者や市民、学校等に広く知られ、商品・サービス等を選択する際の基準となることで、他の主体の環境行動にもつながります。また、消費者のこのような行動が広まることは、事業者の環境行動をさらに促します。

そこで、環境に配慮した事業者の取組みやその意義を広く発信するとともに、それらの取組みを商品・サービスの選択基準とすることの環境保全上の重要性について、イベントや講座等で啓発することで、事業者と消費者の日常的な環境活動を結びつけ、相乗的に取組みを広めていきます。